



株式会社山添製作所



所在地 加須市古川1-3-1
 代表者 代表取締役 山添 信明 氏
 事業内容 冷間圧造および複合二次加工品
 (特殊圧造・ロールホーミング転造・新工法開発)、協力会社との技術融合による単品・ユニット品の企画・製造・販売
 資本金 1,000万円 従業員数 57名
 TEL 0480-68-5381
<https://yamazoe-ss.co.jp>

「お客様の部品開発段階から技術提案させていただき、試作から量産加工までの最適調達に寄与させていただきます」と語る山添社長

開発段階から社内と協力会社との技術融合により、最適工法を提案し、試作から量産までお客様ニーズに応える同社の山添社長に話を伺いました。

■貴社の概要について、教えてください。

山添 1954年に洋食器のリベット加工業として創業し、その後、アルミサッシ用のステンレスのねじに特化しました。私は2004年に社長に就任しました。ISO9001 (2015年版)、ISO14001 (2015年版) を認証取得しています。2019年に京都の上場会社で金属製品の企画・製造・販売を行う(株)ヤマシナとのM&Aで100%の連結対象子会社となりました。事業内容は、自動車関連部品、産業機器部品、家電・弱電・住宅関連部品などの冷間圧造および複合二次加工品(特殊圧造・ロールホーミング転造・新工法開発)と協力会社200社との技術融合による単品・ユニット品の企画・製造・販売です。

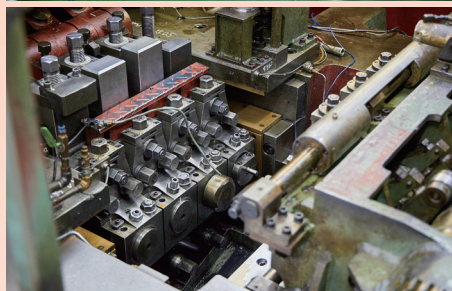
■M&Aをしたことについて、教えてください。

山添 2016年からM&Aを検討しました。なぜかと言いますと、当社もこのくらいの規模の会社ですので、この先々、お客様が求める環境関係の書

類も複雑になり、品質保証に関してもそれなりの設備で保証しなくてははいけません。資本力的にも中小企業が個で頑張っても限界がありますので、グループで戦っていくような形を考えました。M&Aの仲介会社を通じて、2019年にM&Aしました。(株)ヤマシナはM&Aが初めてではないので、M&Aがうまくいく方法を知っています。上場会社のやり方を当社に伝受していただき、レベルが上がりました。さらに効果があったのは、グループ企業が共同して仕事をやることです。(株)ヤマシナは特殊機能のねじを大量生産し、当社は小ロットで特殊なパーツを生産しています。機械は一緒ですが、やっていることは真逆です。特殊なパーツのノウハウは当社が、(株)ヤマシナは大量生産しているので生産効率に長けています。お互いのいいところを引き出してものづくりしています。

また、グループ会社全体で各社の営業案件などをオンラインミーティングすることで、知識が広がり勉強にもなり、受注成約率がアップしました。(株)ヤマシナの社長も信頼できる素晴らしい方で、結局、M&Aは相互の信頼感がないとうまくいきませんので、M&Aしてシナジー効果が生まれて、

開発・設計から量産まで、最適な工法で技術提案を提供する会社



(上)加須工場内 (下)冷間圧造(フォーマー) 特殊形状品(ねじ、リベット、中空リベット・シャフト・ピン、パイプ・カラー、ロールホーミング転造による(ローレット、セレーション、ギヤ、溝、もみ切り、バニシング・らせん形状等)) 加工線形:1mm~20mm 加工ねじ径:1.6mm~20mm

とても良かったと思っています。

■強み、差別化戦略について、教えてください。

山添 もともとステンレスの特殊物の加工に特化していました。自動車で使われているのは、やはり鉄が多いのですが、当社は鉄はやらない会社と勘違いされたので、鉄もできることをアピールしたら、鉄の案件も来るようになり、自動車の仕事も増えていきました。

特徴として、お客様のなるべく近い位置で仕事をする事です。口利きで「困ったときの山添製作所」と言われていて、他でできない物の加工を当社ができるからです。卓越した技術力があるわけではなく、設計段階からの技術提案ができるからです。それはお客様の近くでないと、できないことです。間に数社入りますと伝言ゲームになってしまいますので、ティア1やティア2メーカーとの直取引が多いです。

チャレンジ精神旺盛で、今までやっていなかった工法でつくった事例が多いです。例えば、これまでの3工程を2工程にすることなどで、お客様に喜んでいただいています。

お客様の要求も多岐にわたり、金属以外にも樹

脂やゴム等々、さまざまな材質の加工を求められますが、協力会社200社とのコラボレーションによる対応力で、一社完結で応えています。

CAE解析装置によるコンピューター支援設計で、コンピューター上に疑似的に再現した製品の設計問題をシミュレーションすることができますので、製品開発が速いです。

■今後の展開・抱負は。

山添 今期の経営方針は、「スローガン『有言実行』」です。言ったことは必ず実行すること、始めたことは最後までやり遂げることです。三つの方針は、

①変化して成長しよう

外部・内部要因の変化に対応して成長していく。

②挑戦して成長しよう

新規得意先・新規商品・新規工法へ挑戦し成長していく。

③継続して成長しよう

計画を最後まで遂行し、次の計画に生かし成長していく。決めた事を継続し次の成長へつなげる。

会社理念の「環境に調和した物作りと、顧客の満足と信頼を創意工夫で実現し、その有効性を継続的に改善し、社会に貢献」していきます。